

3 より区民に身近な区民会議を目指して…向丘地区での開催など

第2期では、より多くの区民にその取組を知ってもらい、区民の身近な区民会議となることを目指して、今年度の第3回区民会議（H20.11.19(水)）を、初めて向丘地区（向丘出張所）で開催しました。

当日は地域から4名の傍聴があり、本会議の終了後には、米場者から意見や感想を述べてもらう場面もありました。

また、平成21年3月には、区民会議フォーラムを開催し、従来の区民会議からの報告に加え、地域の事例発表やワークショップ形式の分科会などを行い、委員と参加者とが活発に意見を交わしました。



向丘出張所で開催された第3回第2期宮前区区民会議

4 第1期提案に対する取組…全体会議で引き続き報告、意見交換の場

第2期でも、引き続き第1期区民会議からの提案に対する取組の実施の状況や経過について、毎回の全体会議の場で、区役所と委員の双方から報告を受け、意見交換を行う場を設けています。

これまでに第2期区民会議で報告された主な取組

- 高齢者福祉
 - ・私のまちのすこやか活動合同研修会の開催（1月26日）
 - ・公園体操活動、さらに増加して区内28会場に
 - ・公園体操交流会を市民館で開催（2月26日）
 - ・大人の文化祭inみやまえを開催（1月25日）
 - ・神木本町でのお茶飲み会の開催
- 子育て支援
 - ・「子育てかわら版」の発行（7月・11月）
 - ・親と子の子育て応援セミナーの開催（12回）
 - ・子育て支援センターで乳幼児の母親に対する出前講座を実施（27回）
 - ・第4民生委員・児童委員協議会で、20年9月から「すくすくけやき平」を開設
- 地域コミュニティ
 - ・さぎ沼商店会でのオリジナルエコバッグ手づくり教室の開催
 - ・蔵敷商店会での「オオカミの護符」上映会開催
 - ・地域安全マップづくり（3ヶ所）と同インストラクター講座の開催（2月5日・8日）
 - ・シニア世代対象「地域コーディネートを学ぶ講座」（全3回）の開催（1月～3月）
- 地域防災
 - ・「防災ワンポイント豆知識（A3版）」の作成と配布
 - ・防災フェアの開催（1月20日）
 - ・防災出前講座の広報強化
 - ・宮前区防災推進員養成研修の開催（1月31日・2月1日）

意見大募集

- 区民会議がより実のある議論の場となるよう、区民のみならず広く意見を募集いたします。今までの会議の審議内容や、議事運営の方法、また、身近にある地域の課題についてご意見をお寄せください。持参、郵送、ファックス、メールでお送りください。書式は自由です。たくさんのご意見をお待ちしています。
- 区民会議の全体会、専門部会の会合は基本的に全て公開となっており、傍聴が可能です。ご興味のある方はぜひお越しください。
- 今後の会議予定やこれまでの検討経過などの情報は区のホームページからもご覧になれます。
URL / <http://www.city.kawasaki.jp/69/69miyamae/miyamae/index.htm>
申込み・問合せ 〒216-8570 宮前区役所企画課
電話 044(856)31336、FAX 044(856)31119、メール 69soumu@city.kawasaki.jp



第2期 宮前区区民会議 中間報告

平成20年5月にスタートした第2期宮前区区民会議の活動も、平成21年3月で任期の中間の折り返し地点を迎えました。

第1期の成果を引き継ぎながら、より区民に身近な区民会議を目指して新たな試みにも取り組んできた、第2期のこれまでの活動の経過や特徴などを振り返ります。



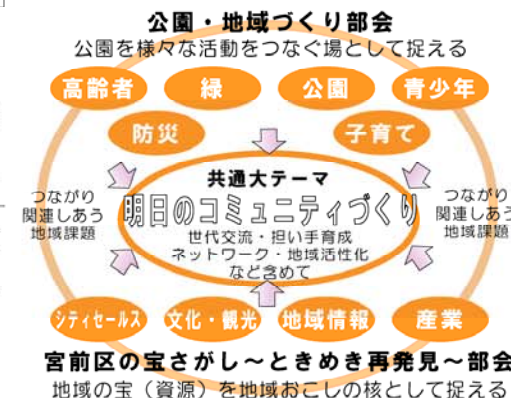
審議テーマイメージ

1 明日のコミュニティ形成を目指して…共通の大テーマの設定

第1期では、高齢者福祉、子育て支援、地域防災など、分野別の課題に対して、絞り込んだ審議を行っていたのに対し、第2期では、第1期の審議テーマのひとつであり、継続して審議することが望ましいとされた「明日のコミュニティ」を共通の大テーマとして掲げました。

そこで、「公園」という場と宮前区の「顔・宝」となる資源を題材に、地域コミュニティを活性化させていく手法を検討していくこととし、「公園・地域づくり部会」と「宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会」の2部会を立ち上げました。

部会では、様々な世代・立場の区民が主体的に関われるような提案を意識しながら検討を進めています。



2 提案と取組のつながりの強化…2年間をかけた審議、事例調査やアンケートなど



地域による公園活用の事例報告を受ける公園・地域づくり部会

第1期では、年度ごとにテーマ別の部会審議をもとに提案をまとめていましたが、第2期では任期の2年間をかけて、それぞれのテーマに関する審議をじっくり進めています。

テーマに関連した事例調査や、地域におけるアンケートなども実施しながら、より実現性が高く、地域での担い手の確保や実際の取組の実施につなげられる提案を目指しています。

第2期の活動の特徴のつづきは… →4Pへ

部会の中間報告は… →2～3Pへ



テーマの設定・検討内容

地域の公園を高齢者、子育て、青少年、緑、防災などのさまざまな活動、課題解決の場として、活用していくことを検討していく部会として発足しました。

活用を通して、世代交流、居場所づくりなども進め、地域住民が集う、地域のコミュニティの拠点として活用していくくみを検討します。

開催経過

- 第1回 6月16日(月)
- 第2回 7月7日(月)
- 第3回 9月12日(金)
- 第4回 10月10日(金)
- 第5回 10月27日(月)
- 第6回 12月9日(火)
- 第7回 1月20日(火)
- 第8回 3月5日(木)



検討結果 中間報告

◆現状

①第1期区民会議から

・第1期のテーマだった高齢者福祉、子育て支援、地域防災を効果的に進めるためには地域で顔の見える関係づくり、コミュニティの形成が欠かせない

②宮前区内の公園の現状(プラス面)

・190の公園緑地があり、そのうち132箇所に管理運営協議会又は愛護会がある
・緑地・防災拠点など多様な機能
・地域のイベント会場としての利用

③宮前区内の公園の現状(マイナス面)

・増加する公園への苦情
・施設老朽化、管理の不十分な公園の存在
・一部にマナーの悪い利用者
・利用者同士の利害の対立 など

◆宮前区内の公園調査

・部会委員がそれぞれの近所を中心に区内の公園の現状調査を行い、そのデータや写真を検討に活用

◆理想とする公園像

望ましい施設

・トイレ、ベンチ、時計、砂場など、地域のニーズや実情に合わせて

維持管理・運営のあり方

・地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく、主体的に関わっている
・利用者が自主的に維持管理、ルールづくり、イベントの企画運営に関われる

地域での使われ方(コミュニティ面)

・普段から、子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用し、顔見知りの関係ができていく
・地域のお祭りやイベント会場として利用され、地域の交流が図られている

◆地域住民による維持管理先進事例

- ・第4回部会で先進事例のヒアリングを実施
- ①鷲ヶ峰公園管理運営協議会(菅生地区)
- ②つくし野「公園あそび隊」(町田市)

今後の方向性

◆解決すべき課題

①維持管理について

・維持管理の担い手の不足・固定化・高齢化など
・公園緑地管理運営協議会の役割、存在の周知・普及

②公園利用について

・公園利用層の隔たり・特定の利用層
・コミュニティ価値に関する情報発信不足

◆解決策の検討

- ①公園の魅力アピールの手法
- ②コミュニティのきっかけづくり
- ③維持管理・運営の担い手・組織づくり



次回部会開催予定：4月22日(水) 18:15～ 宮前区役所4階第1会議室



テーマの設定・検討内容

文化・観光、地域情報、産業、シティセールスなどの、さまざまな課題を包含する宮前区らしさ(=宮前区の顔や宝)を検討する部会として発足しました。

地域みんなで共有できる宝物(顔)の発見、共有などのプロセスを通して、地域への誇りや郷土愛を育み、地域コミュニティの形成を図る取り組みを検討します。

開催経過

- 第1回 6月23日(月)
- 第2回 7月15日(火)
- 第3回 9月22日(月)
- 第4回 10月24日(金)
- 第5回 12月16日(火)
- 第6回 1月16日(金)
- 第7回 3月3日(火)



検討結果 中間報告

◆現状

①地域の資源(宝)に関する現状

・歴史文化、自然、活動、都市農業などの魅力的な資源があまり知られていない
・資源を総括的にまとめた資料が無い
・宮前区観光協会の発足と活動など

②宮前区に対する内外のイメージ

・自然が豊かで閑静で良好な住宅地
・教育水準も高い
・繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける
・区のイメージ「特にない」との回答区民の割合が7区1位(H15、市民1万人アンケート)

③その他

・宮前地区(相模国)と向丘地区(武蔵国)は東名高速道路が概ね境となっている
・田園都市線沿線を中心に住宅地として開発されてきた歴史
・メディアへの露出は田園都市線沿線中心

◆資源整理の提案

5つの大分類
・自然、歴史文化、産業、活動、まち・施設

楽しむ方法

・みたい(見/観)、ききたい(聞/聴)
・買いたい、食べたい
・やってみたい

◆宝や顔があるまちのイメージ

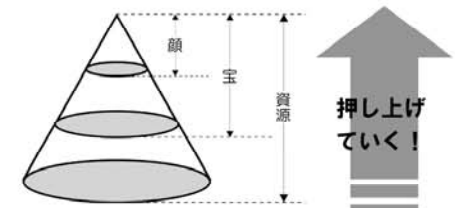
区民一人ひとりにとって…

・自分がすんでいるまちについて、区外の人に紹介することができる
・地域に愛着を持っている(終の棲家とする)
・地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションがある

地域社会にとって…

・豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題は地域が主体となって解決にあたっている

◆地域の資源を宝へ、顔へ押し上げる!



顔……区外にも知られている
区民の誇り・シンボルになっている
宝物…区民に知られている
区民に大切にされている
資源…あまり区民が知らない/知られていない

今後の方向性

◆解決すべき課題

- ①区の「宝・顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある
- ②PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく把握する必要がある

◆解決策の検討

- ①区内の地域の資源を地域で発見し
→共有して→押し上げていくプロセス
- ②地域の資源を内外にPRするための具体的な手法

次回部会開催予定：4月13日(月) 18:00～宮前区役所4階第2会議室

